

## 24 期学会会議第 3 回 IUGS 分科会議事録

日時： 平成 30 年 11 月 13 日 11:00~13:00, 20:00~21:00

場所： 東北大学博物館セミナー室

出席者： 西・木村・大久保・佃・奥村・益田, 北里

### 1. 前回議事録の確認

前回の議事録を承認した。

### 2. 加入国際団体に関する調査票の内容確認

調査表の内容に関して、以下の 2 点の情報提供の依頼を行った（締め切り 11 月の 20 日）。

1) 主な記載事項に関して最近のトピック、政策提言につながる活動、研究集会や役員会などの出席状況、2) 分科会の今後の活動に関することで、特記事項の加筆、関係する部分のチェック、役員会などの出席について。

### 3. 小委員会からの報告事項および活動方針

各小委員会の活動状況は加入団体に関する調査表に記述されていることを確認した。

### 4. Bureau 会議の日本開催について

現在、日本で IUGS の Bureau 会議が開催されている旨の報告があった

### 5. Task Group on Geohazards の活動報告（大久保）

Geohazards のタスクフォースから本年度の活動で以下の内容に関する報告があった。

1) ミャンマーでの地滑り地帯の調査、2) 韓国での原子力発電所周辺の活断層調査に関して、3) RFG2018（バンクーバ）におけるセッション開催、4) アゾレス（ポルトガル）で研究所訪問と国際会議、5) 台湾-韓国-日本の合同シンポジウム（2018 年 10 月台湾で開催）

当タスクフォースの今後の活動予定として、1) 「地震と津波災害が社会に与える影響」(Global social impacts of Earth and Tsunami) の発行を予定している（現段階で 27 論文、締め切りが 2019 年 4 月末なので宣伝が必要）、2) 2019AOGS でセッション予定、3) ベトナムで調査、4) アゾレスで国際会議（リスクと緊急時に関するデータベース構築）、5) IGC2020 でセッション等が計画されている。

### 6. 公開のシンポジウムの総括と問題点

公開シンポジウムに関しては、東北大学災害科学国際研究所で14時から行われ、4 つの講演が行われた。本分科会の久保委員もGeohazardsのタスクフォースに関する講演を行った。いずれの講演も防災の重要性を再認識させるもので、多くの国際的な活動が紹介された。IUGSのBureauメンバーからも多くの発言があり、防災の重要性が再認識された。

### 7. その他

1) 再来年の JpGU で AGU との合同でセッション提案が望ましい。

2) 今後の分科会の活動として、ジオパークと防災・減災問題を結びつける（もとは尾池元日本学術会議外部評価有識者会議座長からの提案）必要との指摘あった（木村会員発言）。これに関して、小委員会等を作る必要性があることが議論された。

(別紙)

公開のシンポジウムにおける Geohazards のタスクフォースからの報告の骨子

◎ アジア各国での災害科学に関する共同作業の紹介

~~オーストラリア~~で国際会議

ミャンマー：地滑り地帯の調査

韓国： 原子力発電所周辺の活断層調査

RFG2018 (バンクーバ) におけるセッション開催

アゾレス (ポルトガル) で研究所訪問と国際会議

台湾-韓国-日本=~~米国~~の合同シンポジウム (2018 年 10 月台湾で開催)

ベトナム=~~日本~~で地滑りに関する共同研究

~~ミャンマー~~で地震・地滑りなどに関する共同研究

日本国内で地滑りに関する衛星画像のモニタリング=~~(藤田・夫久保)~~

洪水流に関する調査

今後の予定：

論文集を発行予定、既に 27 編が提出予定

2019AOGS でセッション予定

ベトナムで調査

アゾレスで国際会議 (リスクと緊急時に関するデータベース構築)

IGC2020 でセッション